

# 2011年日韓友好ソフトテニス大会

平成23年1月9日、10日福島県いわき市、富岡町に於いて福島県連盟強化委員会シニア強化部、日韓友好ソフトテニス愛好会の主催により2011年日韓友好ソフトテニス大会が開催されました。

韓国より大邱市を中心に4都市の連盟会長をはじめ男子17名、女子11名、計28名の選手が参加し、日本選手は福島県を中心に福岡、徳島、大阪、東京、埼玉、千葉、茨城と男子37名、女子14名が参加個人戦、団体戦と熱戦が繰り広げられました。

韓国選手団は1月8日に成田に到着後いわき市に宿泊、福島県選手との交流と親善を図り11日に帰国されました。

{個人戦 1月9日 いわきかんぼの宿テニスコート}



韓国選手は男子元世界チャンピオンの孫・ヨン Chol を始め、ナショナルチーム経験者が多く含まれており、又、日本選手にも全日本、東日本チャンピオンが多数参加し、熱戦が繰り広げられました。

	1位	2位	3位
男子40歳の部	村瀬 充 小脇静香	永井良一 檜山 満	kan suk bong kwon soon won
男子50歳の部	新沼宏之 磯口益弘	菊池利春 本田恒之	中野雅弘 佐藤光一
男子60歳の部	佐川和彦 吉田雅之	小俣三男 姫野好道	lee jong kwan ro dae hyun
女子40歳の部	熊谷良江 中野直美	an jung ok jung me suk	高橋佳子 鈴木紀恵
女子50歳の部	park kyung hee sim kyeong sum	kim jung sook gong hyo soon	佐川信子 新妻恭子



{団体戦 1月10日 富岡町ふれあいドーム}



時間の都合で1次戦のみ行われ10対7で日本チームの勝ちとなりました。



1月9日には歓迎懇親会が行われ、ジェスチャーを交えながらソフトテニスへの熱い思いを語り、大いに盛り上がりました。

1月10日にはいわき市の金比羅神社例大祭にて日本文化に触れ、スパリゾートハワイアンズでフラダンスを見学、11日いわき市内でショッピングをして韓国への帰国となりました。

帰国後、孫団長と孫・ヨン Cholよりメールと電話があり来年度の第2回大会は韓国聞慶市にて1月6日に福島県選手を中心としたチームを招待すると連絡がありました。

又、福島県の皆様に感謝の言葉が伝えられ、来年の再会を楽しみに待っているとのことでした。

強化委員会シニア強化部にて訪韓ソフトテニスチームを編成しますので、いわき吉田まで参加を申し込んで下さい。

#### ※韓国チームアラカルト

##### テニスにおける韓国人性格

意外とアバウト(服装・用具はチグハグ、ラインは曲がっていても平気、ジャッジ・コールはしない。)しかし、勝負にはものすごくこだわりがはげしい。

##### ソフトテニス練習

乱打が中心(1面に12人ストレートで打ち合う。ぶつからないのが不思議。ものすごくコントロール良い。)大会では小学生からナショナルチームまでコートがあき次第一緒に練習する。)

##### プレースタイル

ロブでの振り回しが少ない。ほとんどフラットのシュート、ボレーはすべて立て面、バックスイングが小さい為、体のブレが少ない。女子のバックハンドストロークはすべて両手打ち。日本と違いボールを打ってから声をだす(ハアー、ヤアー)